

1 これまでの取り組み

(1) 現 状

市では、一人ひとりの充実した生活の実現と市民参加による協働のまちづくりを推進するため、主体的な「学び」「交流」を支援する市民大学校を開校し、健康の維持・改善、地域での仲間づくり、退職後の地域中心の生活づくりを支援しています。



講座に参加する受講生

公民館事業として行っていた「福寿大学」と「健康文化都市大学」を統合し、健康の維持改善、地域活動の実践の懸け橋となる市民講座として平成17年度に市民大学校を開校し、延べ1,000人以上の受講生が卒業しました。

卒業後は、地域イベントの活動や団体活動に積極的に参加したり、グループを結成するなど、交流の輪が広がり、地域社会の発展に大きく貢献してきました。

しかしながら、近年は受講生の減少や高齢化、リピーターの増加などにより、当事業の目的（健康増進、地域活動のきっかけづくり、人づくり、郷土愛、生きがいづくり等）が実践できていない状況です。

受講生の増加を見込んで土日開催を実施しましたが、若者の参加はなく、高齢者も家族との時間を優先するため、全体として受講申込者が減っている状況にあります。

(2) 課 題

- ① ライフスタイルの多様化に伴い、学習機会が広がる方法を整える必要があります。
- ② 学習内容が受講者個人の学びにとどまる傾向にあるため、その後の地域活動や社会参画につながる内容の講座を提供することが求められます。
- ③ 講座の形式やテーマが従来型にとどまっているため、現代の学び方（短期集中型、1講座から受講可能など）に対応できる対策を検討します。

(3) 実 績 【市民大学校講座参加人数】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	目標値
受講者数	25	23	50	43	32	50人

2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性

社会状況の変化や人々の関心の多様化が進み、市民のライフスタイルや学びへのニーズも変化しています。

そのため、これまでの講座や講習のあり方を見直し、短期集中型や1講座からでも受講可能にするなど、柔軟な受講スタイルを導入し、現代のライフスタイルに対応していきます。



趣味や教養を高めるだけでなく、健康（健康寿命を延ばす運動・食生活講座）、IT（スマートフォンやAI活用講座）、マナーリテラシー（投資教室）、多世代交流（現役世代向けのタイムマネジメント講座）など、幅広い分野の講座を検討し、令和9年度から新たに「ハッピーライフ Labo 事業」としてスタートします。

これからの時代は、人生100年時代と言われています。一人ひとりの学びを豊かにし、生活や人生に潤いが溢れるように、生涯を通じて学び合う機会を提供し、全ての人のウェルビーイングの実現のために生涯学習の取り組みを推進していきます。

(2) 施策の具体化

事業名	ハッピーライフ Labo 事業				
事業内容 ・ SDGs	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	11 住み続けられる まちづくりを	人生を豊かにする多様な講座の提供、市民の生涯学習活動のきっかけをつくる。	
担当課	生涯学習課	関係課			
連携・協働					

(3) 指標 【ハッピーライフ Labo 事業実績】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
実施回数	-					5回

1 これまでの取り組み

(1) 現 状

市では、令和5年及び6年度に白井市コミュニティセンター並びに白井工業団地協議会を中心とした実行委員会との共催で、子ども向け職業体験事業「ワーキング・キッズ・アドベンチャー」を白井第一小学校、白井第二小学校において開催しました。



警察官の聴取体験

また、令和7年度には教育委員会後援で「子どもの夢お仕事ランド」を、白井コミュニティセンターを会場に開催しました。

この事業は、市内で働く人と一緒に、その職業を子どもたちが体験し、未来の自分を考え、生きる力を養うことや子どもたちの可能性を見つけられる職業体験イベントです。



消防署の救命救急体験

子どもたちは、自分で仕事を探し、それぞれの職業を体験することで、受付にある子ども銀行で模擬通貨（給料）がもらえ、キッズストアで買い物ができます。

働くことを体験し、仕事の楽しさや大変さ、そして、お金が循環する経済について学ぶことのできる機会を提供しています。

(2) 課 題

- ① 子どもたちに多様な職種に触れる機会を増やすため、地元企業の参加協力が必要です。
- ② 親子での参加が多いため、保護者が待機する場所が求められています。

(3) 実 績 【「ワーキング・キッズ・アドベンチャー」「子どもの夢お仕事ランド」への参加者数】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	目標値
ワーキング・キッズ・アドベンチャー	—	151	151	169	—	—
子どもの夢お仕事ランド	—	—	—	—	159	—

※「ワーキング・キッズ・アドベンチャー」「子どもの夢お仕事ランド」共に年1回の開催

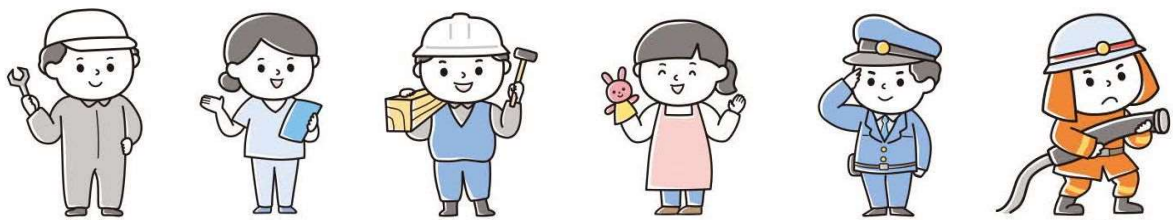
2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性

これまで開催会場としていた白井コミュニティセンターや小学校施設から、拠点を市役所へ移し、より多くの職業体験を展開できる環境を整えます。

そして、地域企業や団体との協働に加え、市と包括連携している企業や市役所内の各部署の協働を得て、幅広い分野の職業体験を実施していきます。

従来からの報酬（模擬通貨）の仕組みを継続しつつ、子どもたちが「やってみたい！」と思える体験を通して、自主性を高め、社会の一員として「働くこと」「地域に関わること」を実感できる「子どもお仕事フェスタ」を実施します。



(2) 施策の具体化

事業名	こども仕事体験事業		
事業内容 ・ SDGs	 4 質の高い教育をみんなに	 8 働きがいも経済成長も	市内小学生を対象に地元企業と協力し、職業体験学習「子どもお仕事フェスタ」を実施する。
担当課	生涯学習課	関係課	企画政策課
連携・協働	市内企業、公的機関		

(3) 指標 【「子どもお仕事フェスタ」の実施回数、参加企業数、参加者数】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
実施回数						1回
参加者数（延べ）						220人

1 これまでの取り組み

(1) 現 状

市民文化祭は、昭和32（1957）年に開始された、60年以上の歴史を持つ行事です。現在は、市民で構成された白井市民文化祭実行委員会が主催し、毎年11月に約1か月かけて、展示・大会^{※1}、学校部門の展示、芸能祭、音楽祭、ダンスフェスティバルの各行事が開催されています。

文化・芸術活動は、人々の創造性を育み、その表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものです。

長い年月培われてきた文化・芸術・芸能、そして、新しく生まれる文化・芸術・芸能等を、これからも後世にしっかり引き継いでいくことができるよう、市民文化祭を開催し、市の文化・芸術の振興を図っています。



ダンスフェスティバル

(2) 課 題

- ① 文化・芸術活動をしている市民団体の構成員の高齢化が進んでいます。若い世代の文化・芸術活動を市民文化祭につなげられるかが課題です。
- ② 白井市に留まらない広域的な活動が増えています。市民文化祭に協力してくれる人は市外にも広がっています。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大の影響がまだ残っており、以前のような文化・芸術活動ができていない分野もあります。

(3) 実 績 【市民文化祭参加及び来場者数】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	目標値
参加者数	1,679	1,655	1,830	1,794	1,704	1,500 人
来場者数	7,881	8,698	7,782	9,596	7,142	7,000 人
合 計	9,560	10,353	9,612	11,390	8,846	8,500 人

※1 展示・大会：写真・絵画・書道・手工芸・盆栽・山野草・いけ花・フラワーアレンジメント等の一般展示と、茶道・将棋・ボードゲーム等の大会を開催。

2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性

市民文化祭は、市民を中核とする「白井市民文化祭実行委員会」が主催し、企画・参加者の募集・広報周知・運営を担います。


教育委員会は共催として、補助金の交付や文化センターを中心に会場を提供し、様々な世代が参加できるよう支援するほか、幼稚園、小・中学校が参加する学校部門を運営し、優秀作品は三長賞※2を選定し授賞式を開催します。



学校部門の展示

市民と教育委員会がそれぞれの役割を分担し、協働・連携しながら、参加団体のすそ野を広げ、文化・芸術団体のさらなる自主性や創造性を育み、地域の特色ある文化・芸術の発展を図ることを目指します。

(2) 施策の具体化

事業名	市民文化祭開催事業		
事業内容 ・ SDGs		白井市民文化祭（一般部門及び園児・児童・生徒を対象とする学校部門）の開催。一般部門は、白井市民文化祭実行委員会へ補助金を交付して市民との協働で、学校部門は直営で実施。	
担当課	生涯学習課	関係課	文化センター（文化会館）
連携・協働	白井市民文化祭実行委員会		

(3) 指標 【市民文化祭参加及び来場者数】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
参加者数						1,700 人
来場者数						8,300 人
合計						10,000 人

※2 三長賞：市長賞・議会議長賞・教育長賞の3人の「長」による賞。現在は小学校の書写・図画・工作・家庭の4部門、中学校の書写・美術・技術・家庭の4部門の作品から選ばれる。

1 これまでの取り組み

(1) 現 状

文化財は、市の歴史・文化等の正しい理解のために欠かせないものです。

また、将来の文化の向上発展の基礎となることから、市民の財産として適切に保存、活用していく必要があります。

市内には国指定重要文化財の滝田家住宅をはじめ、様々な文化財がありますが、特に江戸幕府によって設置された馬の放牧場である「小金牧」※1に関する資料・史跡は、県を代表する文化財であり、市の歴史を特徴づける存在です。

教育委員会では市内の文化財で重要なものを市指定文化財に指定し、保護と周知を行っています。



国指定重要文化財 滝田家住宅

Topics	文化財保護法
昭和25年に議員立法。有形文化財・無形文化財・民俗文化財・記念物・文化的景観・伝統的建造物群の6種文化財を保存・活用し、国民の文化的向上と世界文化の進歩に貢献することを目的とします。	

(2) 課 題

- ① 急激な社会変化や環境変化、土地の開発により文化財の喪失や伝承者の後継者不足が問題となっています。
- ② およそ50年以上経過したものは文化財の対象となります。戦前のものだけでなく、比較的新しい文化財も失われてきており、保護を考える必要があります。
- ③ 文化財を調査し位置付けることができる専門家や学芸員、文化財の修理ができる専門技術者が減ってきています。

(3) 実 績 【指定文化財・補助事業・普及事業の数】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	目標値
指定文化財数	48	48	48	48	48	50件
補助事業数(年)	2	2	4	3	2	2件
普及事業数(年)	7	7	6	5	6	4件

※1 小金牧：江戸幕府が軍用馬の育成のため、千葉県北西部（野田市・柏市・松戸市・白井市・印西市・鎌ヶ谷市・船橋市・千葉市）に設置した馬の放牧場。

2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性



市内には現在、国指定重要文化財1件、県指定文化財4件、市指定文化財43件が所在し、古民家や、社寺建築などの建造物、歴史資料、有形無形の民俗文化財、野馬除土手などの史跡、樹木などの天然記念物があります。そうした各種文化財の良好な保存を図り、必要に応じて補助金を交付します。

文化財には防犯上の配慮が必要なものや、個人所有のものもありますので、所有者と協議しながら可能な範囲で公開や各種媒体への掲載などの活用を図り、市民が文化財に親しむ機会を設けることで、市の歴史理解と文化の向上を図っていきます。



県指定文化財小金牧の牧士資料

(2) 施策の具体化

事業名	文化財保護・周知事業		
事業内容 ・ SDGs	 	市内の国・県・市指定文化財の良好な状態での保存と活用を図り、市民が文化財に親しむ機会を設けることで、市の歴史理解との文化の向上に寄与する。	
担当課	生涯学習課	関係課	文化センター（郷土資料館）
連携・協働	市民（文化財所有者）、文化財関係団体・市史編さん事業		

(3) 指標 【指定文化財・補助事業・普及事業の数】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
指定文化財数						50件
補助事業数（年）						2件
普及事業数（年）						6件

1 これまでの取り組み

(1) 現 状

市では、ライフステージに合わせて誰もが身近な場所でスポーツを継続的に出来るよう、市民が自主的・主体的に運営している総合型地域スポーツクラブの活動をはじめとするスポーツに関する情報提供のほか、各競技の市民大会や全国から参加者を募る白井梨マラソン大会の開催など、スポーツに親しむ環境づくりを推進しています。

また、スポーツの振興や競技力の向上を図るため、市のスポーツ推進委員協議会のほか、体育協会やスポーツ少年団など各団体の支援を行っています。



白井梨マラソン大会 スタート

(2) 課 題

- ① 体力や年齢層に応じて、スポーツの楽しさを実感するとともに、生涯にわたり豊かな生活を歩むことができるよう、指導者の育成や活動場所の提供及び周知など、スポーツの普及発展に向けた検討を行う必要があります。
- ② 各種スポーツ大会や気軽に参加できるスポーツイベントを開催し、スポーツの場の提供やきっかけづくりのほか、競技力向上のため各スポーツ団体の活性化が求められます。

(3) 実 績 【各スポーツ事業実績】

	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
総合型地域スポーツクラブ登録者数	768	776	794	775	668	1,000人
白井梨マラソン大会参加者数	新型コロナウイルスの影響により中止	2,080	2,272	2,460	2,763	2,500人
白井市スポーツ・レクリエーション祭		62	91	55	41	70人

2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性

スポーツは、心身の健全な発達、健康や体力の保持増進など、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むうえで不可欠なものです。各種スポーツ大会への参加・体験を通じて人と人との交流、地域同士の交流を促進し、コミュニティの活性化及び次代を担う子どもたちの体力向上の育成にもつながっていきます。

市は、地域住民が主体となって運営する活動を支援し、障がいのある人もない人も誰もが身近にスポーツを楽しみ、交流を深めることができる機会を充実させ、多様性に対応した社会の実現を目指します。



(2) 施策の具体化

事業名	生涯スポーツ支援事業		
事業内容 ・ SDGs		スポーツの普及振興、運動習慣の定着を図り、スポーツの楽しさを実感できるようイベント等を実施するほか、各種大会を開催し、競技力の向上を図る。 いつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しむことのできる生涯スポーツの推進を図るため、総合型地域スポーツクラブの活動場所の確保や周知及び地域スポーツ指導者の核となる人材育成の支援を行う。	
担当課	生涯学習課	関係課	健康課
連携・協働	白井梨マラソン大会実行委員会、総合型地域スポーツクラブ、白井市スポーツ協会（旧体育協会）、白井市スポーツ少年団、白井市スポーツ推進委員協議会等		

(3) 指標 【各スポーツ事業実績】

	R8	R9	R10	R11	R12	目標値
総合型地域スポーツクラブ登録者数						1,000人
白井梨マラソン大会参加者数						2,500人
白井市スポーツ・レクリエーション祭						70人

1 これまでの取り組み

(1) 現 状

白井市文化センターは、平成6年の開館から30年以上経過し、施設の老朽化とともに社会ニーズの変化や関係法令の改正等への対応等、施設運営における多くの課題に直面しています。このため、市民及び学識経験者を交えた「白井市文化センターのあり方検討委員会」を設置し検討を進め、検討委員会からの提言を基に教育委員会による「白井市文化センターのあり方に関する方針」を策定しました。



文化センター外観

令和7年度から8年度は、方針に基づき大規模改修工事を実施するため、基本計画策定業務を進めているところです。

Topics	白井市文化センターのあり方に関する方針（一部抜粋）
	文化センターは、施設全体及び全館（大ホール、中ホール、図書館、郷土資料館、プラネタリウム館、エントランス等共用スペース）存続とする。
	また、改修にあたっては市の財政状況を十分に踏まえたうえで内容を検討すると共に、既存不適格部分の改修を適切に行う。なお、一部機能の縮小や廃止はやむを得ないが、改修時に更新が必要な設備や機器などは、利用者が使いやすいものを導入する。

(2) 課 題

- ① 経年による老朽化や関係法令の改正等へ適切に対応する必要があります。
- ② 一部機能の縮小や廃止については、社会的ニーズの変化等に適切に対応し検討する必要があります。
- ③ 空きスペースや共用スペース等の有効利用を図る必要があります。
- ④ 大規模改修に係る費用の低減に努める必要があります。
- ⑤ 施設の適切な維持管理に努めていく必要があります。

(3) 実 績 【大規模改修の進捗状況】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	目標値
進捗状況	あり方検討	あり方検討	方針策定	—	基本計画着手	基本計画着手

2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性

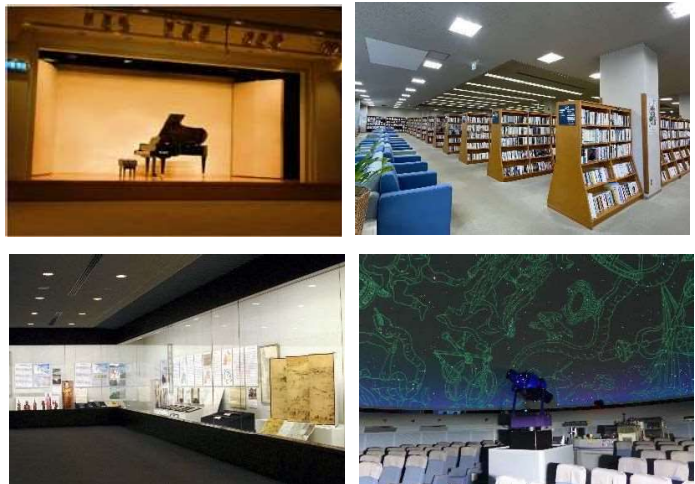
「白井市文化センターのあり方に関する方針」に基づき、整備手法や箇所、工法等の方向性を示した基本計画を策定します。

方針は踏まえつつも、できるだけ市民ニーズに沿った改修内容を検討します。

その後は、基本設計業務、実施設計業務と段階的に進め、大規模改修工事に着手していきます。

工事期間中は市民生活への配慮として、騒音等の影響を最小限にとどめ、計画を進めて参ります。

財源確保の観点からは、文化センター改修基金等を活用し、安全性・機能性・利用者満足の向上を実現するとともに、事業費の安定的な確保を図ります。



文化センター（改修前）の各館
 (左上) 中ホール舞台 (右上) 図書館
 (左下) 郷土資料館展示室
 (右下) プラネタリウム館ドーム内

(2) 施策の具体化

事業名	文化センター改修等事業		
事業内容 ・ SDGs		「白井市文化センターのあり方に関する方針」に基づき、大規模改修工事に向けた準備を進める。 計画の進捗状況を適宜公表していく。	
担当課	文化センター	関係課	公共施設マネジメント課
連携・協働			

(3) 指標 【大規模改修の進捗状況】（実施設計以降は、公共施設マネジメント課が事業主体）

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
進捗状況						工事竣工

1 これまでの取り組み

(1) 現 状

文化会館では、市民が多様な文化・芸術に触れ、日常生活にゆとりや潤いを得られるよう、クラシック、ポピュラーミュージック、演劇、古典芸能等、様々なジャンルの優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供しています。

ホールの貸し出しを通じて、市民が自らの芸術活動を発表し、交流のできる場を創出し、文化の振興に努めています。



千葉県警察音楽隊安心安全コンサート



文化会館バックステージツアー
※普段は入ることができない大ホールの音響・照明室で操作説明を受ける参加者の様子

また、市民に優れた音楽や舞台芸術等を鑑賞する機会を提供するために、文化会館自主事業を開催しています。

この事業を通して、文化・芸術への興味・関心を育み、市民生活のゆとりや潤いの醸成に寄与しています。

(2) 課 題

- ① 文化会館のホームページは広報紙により周知していますが、デジタル時代にあわせてSNSなど多様な方法を活用した情報発信の強化が必要です。
- ② 市が実施主体となり、市民に舞台芸術をより多く、身近に触れてもらう機会を提供できたと捉えていますが、公演後のアンケート等を通して、さらにより良い事業の実施を検討する必要があります。

(3) 実 績 【文化会館自主事業来場者数と満足度】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 ^{※1}	目標値
来場者数	542	1,185	1,055	1,511	1,279	1,600人
満足度	85.9%	88.9%	97.4%	90.1%	80.5%	90%
開催数	2	3	2	5	3	4回

※満足度は自主事業公演後のアンケートで、「大変よかった。」と回答した割合

※1 令和7年度実績は令和8年2月末現在のものです。

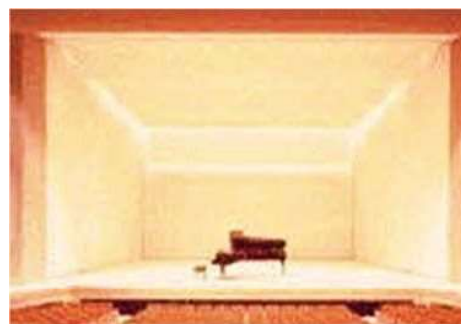
2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性

文化芸術は、人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものです。

文化会館自主事業では、市が事業の実施主体となり、様々なジャンルの舞台芸術に触れる機会の充実と良質な舞台芸術を届け、豊かな感性を育てていきます。


これまで自主事業に参加したことのない方々を含め、幅広い世代が魅力的な公演や文化芸術に触れることのできる機会の提供など、バランスよく市民の文化創造を支援できるよう、内容の充実及び来場者数の増に繋がる企画を立案し、展開していきます。



大（なし坊）ホール舞台



(2) 施策の具体化

事業名	文化会館自主事業運営事業		
事業内容 ・ SDGS		演劇、演歌、ポピュラーミュージック、クラシックコンサートや古典芸能など、優れた舞台芸術を鑑賞する自主事業を開催し、市民が広く文化芸術に触れる機会や場を提供する。	
担当課	文化センター	関係課	
連携・協働			

(3) 指標 【文化会館自主事業来場者数と満足度】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
来場者数						1,600人
満足度						90%
開催数						4回

※満足度は自主事業公演後のアンケートで、「大変よかった。」と回答した割合

1 これまでの取り組み

(1) 現 状

図書館は社会教育法に基づき、図書館法において設置する施設であり、人々の知る権利を保障し、学習を支援するものです。

白井市立図書館は、資料を「収集」「整理」「保存」して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする重要な公共施設です。

利用者は乳幼児から高齢者まで幅広く、資料や情報提供のための適切なレファレンスサービスを行い、地域の知的基盤として不可欠な役割を果たしています。

市役所各課と密接に連携し、行政サービスや地域の課題解決に向けた情報提供を発信しています。

さらに、同じ施設内にある郷土資料館・プラネタリウム館、市民団体と協働によるイベントも積極的に行い、利用者から高い評価を得ています。

Topics	図書館30周年
	<p>白井市立図書館は令和6年10月7日に開館30周年を迎えました。</p> <p>開館当初の蔵書は約9万冊でしたが、今や55万冊を数え、恵まれた施設規模と豊富な図書館資料をもとに、現在も市内各センター5館の図書室と連携してサービスを行っています。</p>



図書館開館30年を記念した展示（お勧め本）

(2) 課 題

- ① 蔵書の充実を図るために、紙媒体以外の電子書籍やデジタルデータなど多様な情報資源の活用と提供に努める必要があります。
- ② 求められている多様な役割に対応し、地域住民のニーズに応えるため、地域交流や生涯学習の拠点としての機能を図る必要があります。

(3) 実 績 【図書館レファレンスサービス件数と来館者数】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 ^{※1}	目標値
レファレンス	3,902	3,797	3,718	3,984	3,222	4,330 件
来館者	162,550	157,821	161,733	157,058	143,341	157,000 人

※1 令和7年度実績は令和8年2月末現在のものです。

2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性

社会的ニーズにあわせて、電子書籍の導入など情報機器の充実を図ると共に、地域の課題解決につながる情報提供及び子どもの居場所づくりなど、さらに多様な役割を果たすよう努めます。

また、学校図書室や市内の各センター図書室と連携し、市民の生涯学習を支援すると共に図書館利用環境作りに努めていきます。

インターネットに接続できる端末と Wi-Fi 環境を整え、自宅やオフィス、学校と異なる第3の居場所の提供の実現に向け検討を進めます。

市民の読書要求に応えると共に、図書館司書が利用者の課題を解決するためにレファレンスのさらなる充実に努めます。



児童コーナーでの読み聞かせ

(2) 施策の具体化

事業名	図書館サービス推進事業			
事業内容 ・ SDGs	   	図書館の利用者層・利用目的に対応したサービスの調査・研究を行い、利用者のニーズに沿ったサービスを提供する。 社会的ニーズに対応した機器の導入等を検討する。		
担当課	文化センター	関係課	プラネタリウム館	健康課
連携・協働				

(3) 指標 【図書館レファレンスサービス件数と来館者数】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
レファレンス						4,330 件
来館者						157,000 人


1 これまでの取り組み

(1) 現 状

宇宙という広い視野を持つ事は、人間にとって重要な意味を持ち、人生そのものをより豊かに彩る力となります。

プラネタリウム館では、「生まれる前から星になる前まで楽しめる」というコンセプトのもと、様々な年齢に応じた多様な番組を制作・投映し、一生涯にわたり星空と触れ合う機会を提供して人々の心に感動と好奇心を育んでいます。

観望会や講座を白井天文同好会と協働しながら開催し、地域の人々が天文を通じた交流を行い、活動できる場を提供しています。

Topics	多様なニーズに対応した投映が可能
<p>プラネタリウム館のドーム中央にある光学式プラネタリウム「クロノスⅡ」で美しい星空を再現し、前後方2台のプロジェクターでデジタル式プラネタリウム「ステラドームプロ」のダイナミックな映像を映し出し、多彩な演出を行うことができます。</p> <p>星空解説は、全て生解説で行うため、その時々に来館者に応じた、ライブ感あふれる、一期一会の投映をお楽しみいただけます。</p>	 <p>光学式プラネタリウム 「クロノスⅡ」</p>

(2) 課 題

- ① プラネタリウムに求められるものが多様化する中で、来館者のニーズを捉え、きめ細やかな対応を行う必要があります。

(3) 実 績 【プラネタリウム館来館者数と満足度】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 ^{※1}	目標値
来館者数 (人)	13,334	17,383	16,301	16,213	13,930	17,000 人
投映満足度 (%)	98	99	97	97	95%	90%以上
投映回数 (回)	534	561	526	532	461	—

※投映満足度は、一般投映観覧後のアンケートで、「おもしろい」と回答した割合

※1 令和7年度実績は令和8年2月末現在のものです。

2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性



プラネタリウム館では、開館当初から使用している音響機器の老朽化対策と更新から10年以上経過した投映機器の更新・メンテナンスを踏まえつつ、市の特色ともいえる多様な投映事業を引き続き維持します。来館者のニーズを的確に捉えるため、すべての投映においてアンケートを実施し、サービス及び業務の改善に努め、今後も市民に愛される運営を目指します。



デジタル式プラネタリウムによる星空の世界

また、生涯学習と学校教育双方の役割を担い、児童生徒の自然科学への関心を高め、探求心を養えるような取り組みを推進します。

(2) 施策の具体化

事業名	プラネタリウム館運営事業		
事業内容・SDGs	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	市民のライフステージや客層に応じ特色ある番組を制作・投映するとともに学校や幼稚園・保育園などと連携し、教育課程・保育課程に応じた投映・講座等を行い天文教育普及に努めます。 また、白井天文同好会と協働で観望会を開催します。
担当課	文化センター	関係課	
連携・協働	白井天文同好会		

(3) 指標 【プラネタリウム館来館者数と満足度】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
来館者数 (人)						17,000 人
投映満足度 (%)						90%以上
投映回数 (回)						-

※投映満足度は、一般投映観覧後のアンケートで、「おもしろい」と回答した割合

1 これまでの取り組み

(1) 現 状

郷土資料館は、市民が身近に郷土の歴史を学ぶことができるよう、歴史等に関する資料の収集、保管、調査研究を行い、展示や講座等を開催しています。

近年開催した企画展では、市制20周年、郷土資料館開館30周年といった節目に合わせたテーマを選定し、その成果をまとめた冊子や図録を作成しました。

古文書講座では、市内に伝わる江戸時代の古文書を資料とし、参加者ごとの習熟度に対応できるよう難易度の異なる講座を複数開催しています。

平成18年度からは市民学芸スタッフ古文書修補活動事業を開始し、市民との協働により取り組んでいます。現在、保管している約20,000点の古文書のうちこれまでに約2,500点を修補してきました。

Topics	郷土資料館の役割と活動
	郷土資料館は、展示や資料を通じて人々に郷土の歴史や文化を伝え、次世代へ継承する重要な拠点です。 市民が郷土に関心を持てるよう白井市に関する企画展や講座を開催しており、子どもから大人まで幅広い層が地域への理解と愛着を深めることができる施設です。



資料館展示風景

(2) 課 題

- ① 教育普及活動として、一定の講座の開催数が設けられていますが、現在の社会的ニーズを踏まえ、SNS等を利用したより効果的な情報発信の強化が必要です。

(3) 実 績 【各事業開催回数】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7※1	目標値
古文書講座	8	10	11	10	11	10回
体験教室	7	13	11	11	12	11回
郷土史講座	3	2	2	1	1	2回

※体験教室は来福帳づくり・まが玉づくり・編布づくり・和本づくりの開催回数

※1 令和7年度実績は令和8年2月末現在のものです。

2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性


現行の教育普及事業を継続し、市民に安定的な学びの場を提供するとともに、情報発信を推進し、より多くの市民に郷土資料館の活動を届け、市民が自分の市の歴史や文化財に関心を持てるように努めます。

20年以上にわたる古文書修補活動について、次世代に技術を継承するために、蓄積した技術を記録し、後世に伝えていく取り組みを進めていきます。



古文書修補作業風景

(2) 施策の具体化

事業名	郷土資料館学芸活動事業		
事業内容 ・ SDGs	 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、郷土に関する資料の専門的、技術的な調査研究を行う。また、その成果を企画展や講座を通じて市民に伝える。		
担当課	文化センター	関係課	生涯学習課
連携・協働	市民学芸スタッフ		

(3) 指標 【各事業開催回数】

	R 8	R 9	R 10	R11	R 12	目標値
古文書講座						10回
体験教室						11回
郷土史講座						2回

※体験教室は来福帳づくり・まが玉づくり・編布づくり・和本づくりの開催回数

